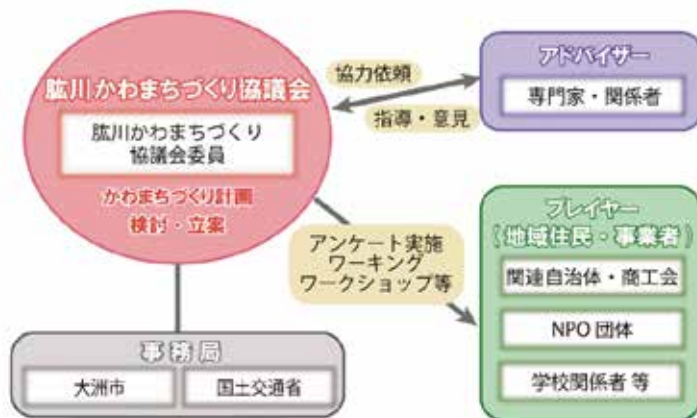


水郷文化とともに 育ち続けるかわまちづくり

肱川かわまちづくり

平成30年7月豪雨災害からの復興に合わせ、かつて「かわ」と「まち」をつなぎ、大洲の発展を支えた「かわみなと」の再整備を行い、鵜飼い、いもたき、カヌー等、水郷大洲の特色を活かし、肱川流域の「かわ」と「まち」が一体となったかわまちづくりを進めており、令和6年度は、大洲市肱南地区・肱川橋詰め大階段の整備を行う予定です。



肱川かわまちづくり推進体制



ワークショップでは整備状況の報告や整備箇所に関するブレインストーミングなどを実施しています。また、大洲市中心部で開かれた地域イベントに参加し、模型を活用した肱川かわまちづくりのPR活動、利活用に関するアンケート調査を行い、課題やニーズ、河川利用の可能性についてご意見をいただきました。

①しろしたかわみなと

肱南地区の親水護岸整備等を行い、より一層の水辺の賑わい創出を目指します。

②肱川橋詰め大階段

かわとまちをつなぐ大階段を整備し、水辺空間へのアクセス性向上を目指します。

③みどりのかわみなと

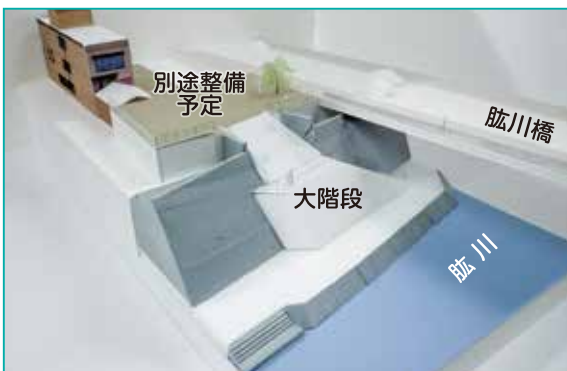
肱北地区では利用動線を考慮した緑地公園を整備します。



①しろしたかわみなとの完成イメージ



利活用の状況(第2回 肱川かわびらき)



②肱川橋詰め大階段の整備イメージ



③みどりのかわみなとの整備イメージ